

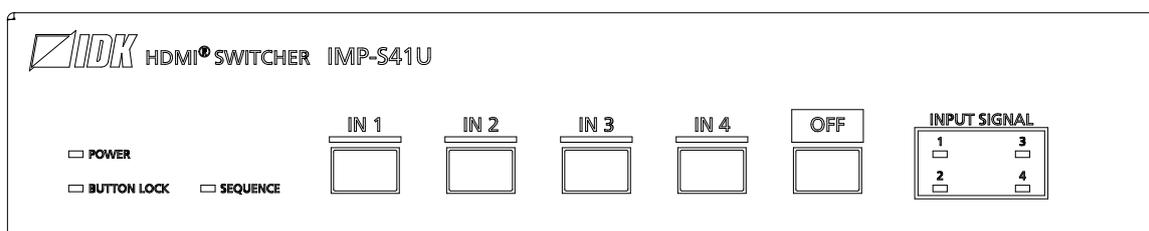
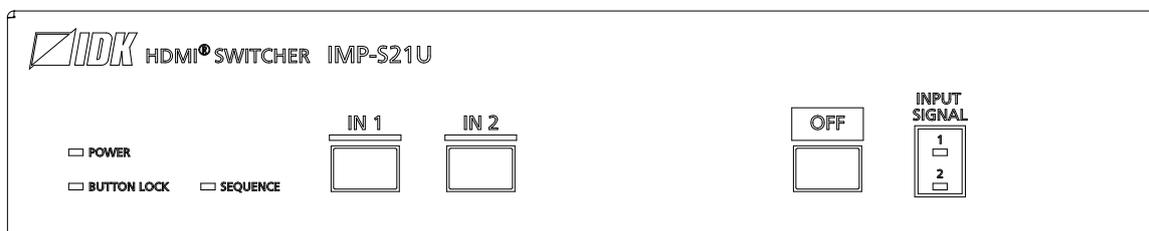
HDMI 切換器

IMP-S シリーズ

IMP-S21U / IMP-S41U

<コマンドガイド>

取扱説明書 Ver.2.2.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご利用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図やメニュー項目などが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

www.idk.co.jp

取扱説明書の分冊構成

取扱説明書は、目的に応じて分冊で提供しています。
なお、コマンドガイドはホームページからの提供となります。

■ ユーザーズガイド

[目的]

- ・ 簡単な操作方法を知る。
- ・ 設置し、他の機器と接続する。
- ・ 入出力調整や設定などをする。

■ コマンドガイド (本書)

[目的]

- ・ RS-232C 通信および LAN 通信などによる外部制御をする。

目次

1	本書の概要	5
2	通信仕様と設定	5
2.1	RS-232C 通信	5
2.1.1	RS-232C コネクタ仕様	5
2.1.2	RS-232C 通信仕様	5
2.1.3	RS-232C 通信の設定手順	6
2.2	LAN 通信	7
2.2.1	LAN コネクタ仕様	7
2.2.2	LAN 通信仕様	7
2.2.3	LAN 通信の設定手順	8
2.2.4	TCP-IP コネクション数の制限と解決策	9
3	コマンド	10
3.1	コマンド概要	10
3.2	コマンド一覧	11
3.3	コマンド詳細	13
3.3.1	エラーステータス	13
3.3.2	入力チャンネル選択	14
3.3.3	入力チャンネル自動切換設定	15
3.3.4	入力設定	20
3.3.5	出力設定	21
3.3.6	音声設定	22
3.3.7	接点入力	23
3.3.8	EDID	24
3.3.9	RS-232C 通信設定	29
3.3.10	LAN 通信設定	30
3.3.11	電源投入時の状態設定	32
3.3.12	その他設定	33
3.3.13	ステータス表示	35

1 本書の概要

本書では、RS-232C 通信または LAN 通信を使用した、IMP-S シリーズ (以下、「本機」とする) を制御する通信コマンドについて説明します。

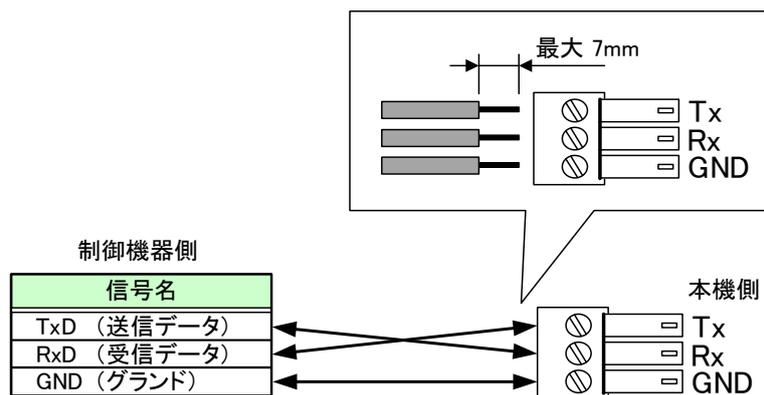
2 通信仕様と設定

本章では、RS-232C 通信と LAN 通信の仕様と、設定手順について説明します。

2.1 RS-232C 通信

2.1.1 RS-232C コネクタ仕様

付属のターミナルブロック (3 ピン) にケーブルを固定し、RS-232C コネクタに接続してください。なお、ケーブルは AWG 28 ~ AWG 16 を推奨します。剥き線長さは最大 7 mm です。必要に応じて RTS と CTS、DTR と DSR をショートしてください。



[図 2.1] ターミナルブロック (3 ピン) への RS-232C ケーブルの接続方法

2.1.2 RS-232C 通信仕様

RS-232C 通信仕様は次のとおりです。

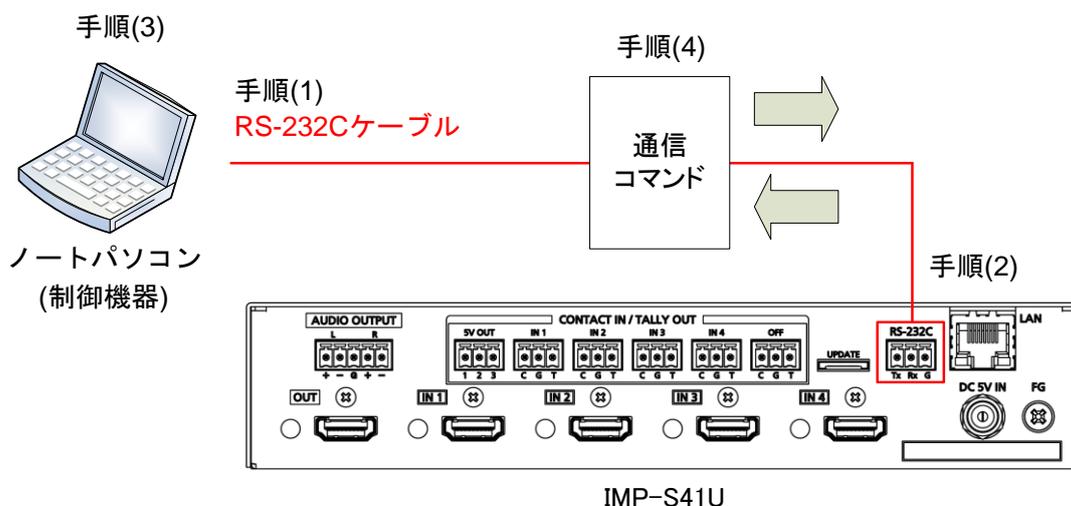
[表 2.1] RS-232C 通信仕様

準拠規格	RS-232C
通信速度	4800 / 9600 / 19200 / 38400 [bps]
データビット長	7 / 8 ビット
パリティチェック	なし / 奇数 / 偶数
ストップビット	1 / 2 ビット
Xパラメータ	無効
フロー制御	なし
デリミタ	CR LF (復帰+改行, 16 進表記の 0D と 0A)
通信方式	全二重

2.1.3 RS-232C 通信の設定手順

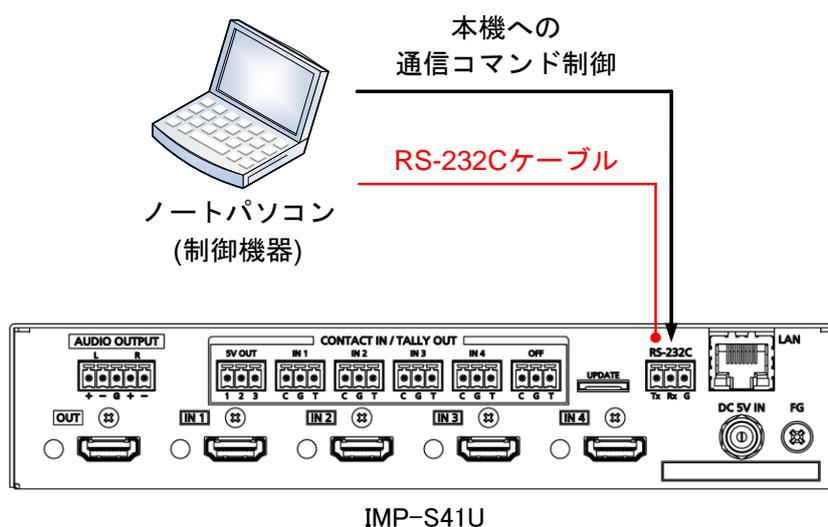
次の手順に従い、本機とパソコンなどの制御機器との RS-232C 通信設定をしてください。

- (1) 制御機器と本機を適切なケーブルで接続します。
- (2) 本機に RS-232C 通信設定をします。
 - ・ 通信速度、データビット長、パリティチェック、ストップビット
 【参照：IMP-S シリーズ取扱説明書 <ユーザズガイド>】
- (3) 制御機器に、手順 (2) で本機に設定した「RS-232C 通信設定」と同じ設定をします。
- (4) 制御機器から通信コマンドを本機に送信します。
通信コマンドを使うことで、本機の制御や状態取得ができます。



[図 2.2] RS-232C 通信の設定手順

■ RS-232C 通信の動作例



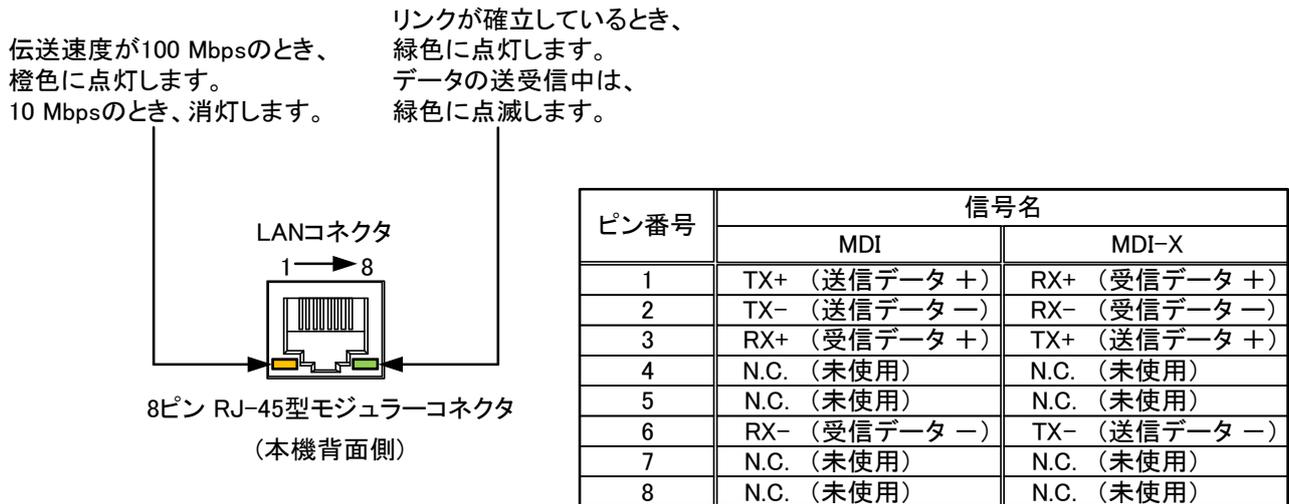
[図 2.3] RS-232C 通信の動作例

2.2 LAN 通信

2.2.1 LAN コネクタ仕様

LAN コネクタのピン配列は次のとおりです。

ストレートケーブル / クロスケーブルの判別・切換を自動的に行なう Auto MDI / MDI-X に対応していますので、本機とパソコンまたはハブなどとの接続のとき、意識せずに接続することが可能です。



[図 2.4] LAN コネクタ仕様

2.2.2 LAN 通信仕様

LAN 通信仕様は次のとおりです。

[表 2.2] LAN 通信仕様

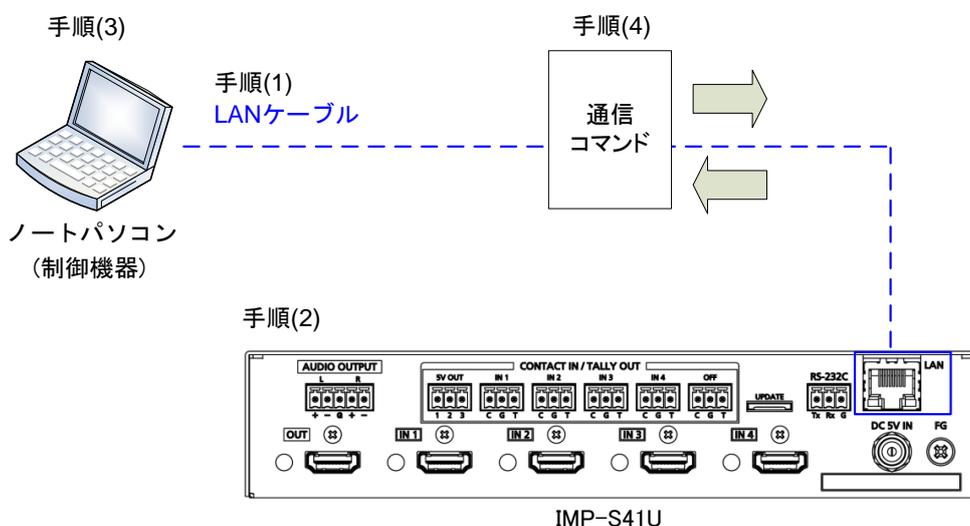
物理層	10Base-T (IEEE802.3i) / 100Base-TX (IEEE802.3u)
ネットワーク層	ARP, IP, ICMP
トランスポート層	TCP 通信コマンド制御使用ポート : 23、1100、6000 ~ 6999 WEB ブラウザ制御 (HTTP) 使用ポート : 80、5000 ~ 5999

【注意】 同時に使用できるコネクション数は最大 8 個です。

2.2.3 LAN 通信の設定手順

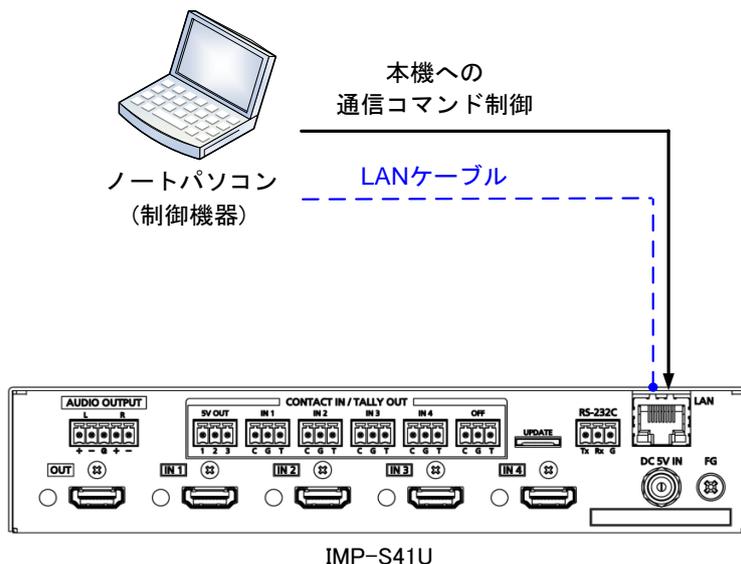
次の手順に従い、本機とパソコンなどの制御機器との LAN 通信設定をしてください。

- (1) 制御機器と本機を LAN ケーブルで接続します。
- (2) 本機に LAN 通信設定をします。
 - ・ IP アドレス、サブネットマスクの設定
 - ・ TCP ポート番号：23、1100、6000 ～ 6999 番
- 【参照：IMP-S シリーズ取扱説明書 <ユーザーズガイド>】
- (3) 手順 (2) で本機に設定した IP アドレスと TCP ポート番号へ、制御機器から接続を確立します。
- (4) 制御機器から通信コマンドを本機に送信します。
通信コマンドを使うことで、本機の制御や状態取得ができます。



[図 2.5] LAN 通信の設定手順

■ LAN 通信の動作例



[図 2.6] LAN 通信の動作例

2.2.4 TCP-IP コネクション数の制限と解決策

本機は、最大 8 コネクション (8 ポート) まで同時に接続することができます。ただし、同時に使用することができるコネクション数が限られているため、9 台以上のパソコンから制御をする場合、本機とのコネクションに失敗することがあります。

8 コネクションより多くのパソコンからコマンド制御をする場合は、次の表に示す方法を使ってください。ユーザー側のソフトから、TCP-IP のコネクション・クローズを通信コマンドの送受信ごとに実行することで、本機側のポート占有が解放されます。そのため、常時ポートを占有することはなく、8 ポート以上の接続をすることができます。

[表 2.3] 接続数を増やす方法

ユーザー側パソコンソフト		本機
TCP-IP コネクション	→	(1 ポート占有)
コマンド送信 (@xxx)	→	
	←	コマンド返信 (@xxx)
TCP-IP クローズ	→	(1 ポート解放)

【注意】 パソコン側から本機へ 30 秒間コマンドの送信がなかった場合、本機は、コネクション数制限の問題を回避するため、コネクションの切断処理をします。そのため、パソコン側から再度コネクションを確立しないと通信ができなくなります。

再度コネクションを確立するためには、今まで繋いでいたパソコン側コネクションの切断処理をした後に、再度コネクションの確立処理をしてください。

(本機のポート数は 8 ポートのため、コネクションが繋がったままパソコン側の電源などが落とされた場合、永久にポートが占有されます。この占有を回避するため、パソコン側から通信コマンドが送信されない場合、本機はコネクションの切断処理をします。)

3 コマンド

本章では、コマンドの仕様について説明します。

3.1 コマンド概要

コマンドは各コマンドを識別する@ (16進表記の40) の後に3文字の半角英字 (大文字、小文字) と、それに続くパラメータ (半角数字) からなります。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータを必要としないものがあります。)

コマンドの最後にデリミタを送信することにより処理を実行します。

例 : @SSW,2 ↵

「,」は、コマンドとパラメータおよびパラメータ間の区切り文字で、カンマ (16進表記の2C) を表します。
↵は、デリミタ CR LF (復帰+改行, 16進表記の0D と 0A) を表します。

■ エラーがある場合

未定義のコマンドやパラメータに誤りがある場合はエラーコマンドを返します。

例 : @SSW,5 ↵
@ERR,1 ↵

■ HELP としての使い方

コマンドを指定せずにデリミタのみを送信すると、ヘルプコマンドとしてコマンドの一覧を送り返します。

例 : ↵

```

----- HELP (1/9) ----- ↵
(Channel SELECT Command) ↵
@GSW / @SSW : Get/Set Input Channel ↵
@GCP / @IOS  : Get/Set Input Channel ↵
↵
----- HELP (2/9) ----- ↵
(INPUT SETTING Command) ↵
@GDT / @SDT : Get/Set Digital Input Signal Detect Time ↵
@GHE / @SHE : Get/Set HDCP Input Enable ↵

```

3.2 コマンド一覧

■ エラーステータス

コマンド	機能	詳細ページ
@ERR	エラーステータス	13

■ 入力チャンネル選択

コマンド	機能	詳細ページ
@GSW / @SSW	入力チャンネル切換	14
@GCP / @IOS	入力チャンネル切換 (互換コマンド)	14

■ 入力チャンネル自動切換設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GAU / @SAU	入力チャンネル自動切換優先度 OFF→ON	15
@GOF / @SOF	入力チャンネル自動切換優先度 ON→OFF	15
@GMT / @SMT	入力チャンネル自動切換後のマスク時間	16
@GBD / @SBD	入力チャンネル自動切換待機中の映像出力	16
@GST / @SST	シーケンス切換モード設定	17
@GSQ / @SSQ	シーケンス切換モード 対象チャンネル	17
@GIT / @SIT	シーケンス切換モード 切換間隔	18
@GSD / @SSD	シーケンス切換モード 入力検出チャンネルのみ設定	18
@GSC / @SSC	シーケンス切換モード 動作開始チャンネル	19

■ 入力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GDT / @SDT	映像信号の無入力監視	20
@GHE / @SHE	HDCP 入力の許可 / 禁止	20

■ 出力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GDM / @SDM	出力モード	21
@GCO / @SCO	シンク機器 EDID チェック	21
@HAU	HDCP 再認証	22

■ 音声設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GAM / @SAM	音声出力ミュート	22

■ 接点入力

コマンド	機能	詳細ページ
@GFP / @SFP	接点入力端子のチャタリング除去時間	23

■ EDID

コマンド	機能	詳細ページ
@GVF / @SVF	EDID の解像度	24
@GHZ / @SHZ	フレームレート	25
@GDI / @SDI	Deep Color 入力	25
@GAF / @SAF	音声フォーマット	26
@GSP / @SSP	スピーカー構成	28
@RME	EDID データのコピー	28

■ RS-232C 通信設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GCT / @SCT	RS-232C 通信の設定	29

■ LAN 通信設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GIP / @SIP	IP アドレス	30
@GSB / @SSB	サブネットマスク	30
@GMC	MAC アドレス表示	31
@GLP / @SLP	TCP ポート番号	31

■ 電源投入時の状態設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GMU / @SMU	電源投入時の入力チャンネル	32
@GSO / @SSO	電源投入時のボタンロック	32

■ その他設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GLS / @SLS	ボタンロック	33
@GBZ / @SBZ	ブザー音	33
@GIV	バージョン情報の表示	34

■ ステータス表示

コマンド	機能	詳細ページ
@GSS	入力信号状態表示 / シンク機器状態表示	35
@GES	シンク機器の EDID 情報表示	39

3.3 コマンド詳細

コマンドの詳細について説明します。

省略可能な記述は“()”で記述しています。

本書では IMP-S41U の入力コネクタ数で説明しています。他の機種を操作の際は、入力数に準じたパラメータに置き換えてご使用ください。

3.3.1 エラーステータス

@ERR		エラーステータス
説明		コマンドが実行されないときの返信です。
返信		@ERR, error ↵
パラメータ		error : エラーステータス 1 = パラメータの書式、値にエラーがあります, 2 = 未定義のコマンドまたはコマンドの書式に誤りがあります, 3 = シーケンス切換モード動作中のため、現在使用できないコマンドです, 4 = なし, 5 = なし, 6 = なし, 7 = なし, 8 = シンク機器からの EDID の読み出しに失敗しました
取得例	送信	@AAA ↵
	返信	@ERR,2 ↵
	説明	@AAA コマンド送信 コマンド書式エラー
備考		—

3.3.2 入力チャンネル選択

@GSW / @SSW		入力チャンネル切換
取得	送信	@GSW ↵
	返信	@GSW, input ↵
設定	送信	@SSW, input ↵
	返信	@SSW, input ↵
パラメータ		input : 入力チャンネル 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 4 = IN4 ※初期値 OFF
取得例	送信	@GSW ↵
	返信	@GSW,2 ↵
	説明	選択されている入力チャンネルを取得。 IN2
設定例	送信	@SSW,1 ↵
	返信	@SSW,1 ↵
	説明	入力チャンネル IN1 を選択。
備考		—

@GCP / @IOS		入力チャンネル切換 (互換コマンド)
取得	送信	@GCP ↵
	返信	@GCP, input ↵
設定	送信	@IOS, input ↵
	返信	@IOS, input ↵
パラメータ		input : 入力チャンネル 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 4 = IN4 ※初期値 OFF
取得例	送信	@GCP ↵
	返信	@GCP,2 ↵
	説明	選択されている入力チャンネルを取得。 IN2
設定例	送信	@IOS,1 ↵
	返信	@IOS,1 ↵
	説明	入力チャンネル IN1 を選択。
備考		—

3.3.3 入力チャンネル自動切換設定

@GAU / @SAU		入力チャンネル自動切換優先度 OFF→ON
取得	送信	@GAU ↵
	返信	@GAU, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority ↵
設定	送信	@SAU, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority ↵
	返信	@SAU, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority ↵
パラメータ		in1_priority - in4_priority : 入力チャンネルの自動切換優先度 0 = OFF, 1 = 優先度 (高) ~ 4 = 優先度 (低) ※初期値 OFF
取得例	送信	@GAU ↵
	返信	@GAU,1,2,3,4 ↵
	説明	入力信号が OFF から ON に変化したときの入力チャンネル自動切換優先度の設定値を取得。 優先度は IN1>IN2>IN3>IN4。
設定例	送信	@SAU,4,3,2,1 ↵
	返信	@SAU,4,3,2,1 ↵
	説明	入力信号が OFF から ON に変化したときの入力チャンネル自動切換優先度を IN4>IN3>IN2>IN1 に設定。
備考		—

@GOF / @SOF		入力チャンネル自動切換優先度 ON→OFF
取得	送信	@GOF ↵
	返信	@GOF, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority ↵
設定	送信	@SOF, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority ↵
	返信	@SOF, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority ↵
パラメータ		in1_priority - in4_priority : 入力チャンネルの自動切換優先度 0 = OFF, 1 = 優先度 (高) ~ 4 = 優先度 (低) ※初期値 OFF
取得例	送信	@GOF ↵
	返信	@GOF,1,2,3,4 ↵
	説明	入力信号が ON から OFF に変化したときの入力チャンネル自動切換優先度の設定値を取得。 優先度は IN1>IN2>IN3>IN4。
設定例	送信	@SOF,4,3,2,1 ↵
	返信	@SOF,4,3,2,1 ↵
	説明	入力信号が ON から OFF に変化したときの入力チャンネル自動切換優先度を IN4>IN3>IN2>IN1 に設定。
備考		—

@GMT / @SMT		入力チャンネル自動切換後のマスク時間
取得	送信	@GMT <input type="checkbox"/>
	返信	@GMT, time <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SMT, time <input type="checkbox"/>
	返信	@SMT, time <input type="checkbox"/>
パラメータ		time : マスク時間 0 = 0 秒 ~ 999999 = 999.999 秒 ※初期値 0 秒
取得例	送信	@GMT <input type="checkbox"/>
	返信	@GMT,2000 <input type="checkbox"/>
	説明	入力チャンネル自動切換後のマスク時間の設定値を取得。 2000 ms (2 秒) 後に入力チャンネルの自動切換が有効になる。
設定例	送信	@SMT,2000 <input type="checkbox"/>
	返信	@SMT,2000 <input type="checkbox"/>
	説明	入力チャンネル自動切換後のマスク時間を 2000 ms (2 秒) に設定。
備考		—

@GBD / @SBD		入力チャンネル自動切換待機中の映像出力
取得	送信	@GBD <input type="checkbox"/>
	返信	@GBD, mode <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SBD, mode <input type="checkbox"/>
	返信	@SBD, mode <input type="checkbox"/>
パラメータ		mode : 映像出力設定 0 = 現在の映像を維持, 1 = 黒色の映像を出力 ※初期値 黒色の映像を出力
取得例	送信	@GBD <input type="checkbox"/>
	返信	@GBD,1 <input type="checkbox"/>
	説明	入力チャンネル自動切換待機中の映像出力の設定値を取得。 入力チャンネル自動切換待機中は、黒色の映像を出力する。
設定例	送信	@SBD,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SBD,1 <input type="checkbox"/>
	説明	入力チャンネル自動切換待機中は、黒色の映像を出力するに設定。
備考		—

@GST / @SST		シーケンス切換モード設定
取得	送信	@GST ↵
	返信	@GST, mode ↵
設定	送信	@SST, mode ↵
	返信	@SST, mode ↵
パラメータ		mode : シーケンス切換モード 0 = OFF, 1 = ON ※初期値 OFF
取得例	送信	@GST ↵
	返信	@GST,0 ↵
	説明	シーケンス切換モードの設定を取得。 シーケンス切換モードは OFF。
設定例	送信	@SST,1 ↵
	返信	@SST,1 ↵
	説明	シーケンス切換モードを ON に設定。
備考		—

@GSQ / @SSQ		シーケンス切換モード 対象チャンネル
取得	送信	@GSQ ↵
	返信	@GSQ, select_1, select_2, select_3, select_4 ↵
設定	送信	@SSQ, ch_1, select_1 (, ch_2, select_2...) ↵
	返信	@SSQ, ch_1, select_1 (, ch_2, select_2...) ↵
パラメータ		select_1-4 : 切換の対象 0 = 切換の対象に含めない, 1 = 切換の対象に含める ※初期値 切換の対象に含める
		ch_1-4 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4
取得例	送信	@GSQ ↵
	返信	@GSQ,1,1,1,0 ↵
	説明	シーケンス切換モード 対象チャンネルの設定値を取得。 IN1 ~ IN3 を切換の対象に含める。
設定例	送信	@SSQ,1,0 ↵
	返信	@SSQ,1,0 ↵
	説明	IN1 を切換の対象に含めない。
	送信	@SSQ,0,0 ↵
	返信	@ERR,1 ↵
	説明	全入力チャンネルを OFF に設定すると、エラーを返します。
備考		@GST / @SST シーケンス切換モード設定 (P.17) の設定が“1” (ON) のときは取得のみ可能です。設定はエラーを返します。

@GIT / @SIT		シーケンス切換モード 切換間隔
取得	送信	@GIT <input type="checkbox"/>
	返信	@GIT, time <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SIT, time <input type="checkbox"/>
	返信	@SIT, time <input type="checkbox"/>
パラメータ		time : 切換間隔 10000 = 10 秒 ~ 4800000 = 4800 秒 ※初期値 10 秒 1000 ms (1 秒) 単位で設定し、下 3 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。 (例えば 13955 と指定すると、13000 ms (13 秒) に設定されます。)
取得例	送信	@GIT <input type="checkbox"/>
	返信	@GIT,20000 <input type="checkbox"/>
	説明	切換間隔の設定値を取得。 切換間隔は 20000 ms (20 秒)。
設定例	送信	@SIT,15000 <input type="checkbox"/>
	返信	@SIT,15000 <input type="checkbox"/>
	説明	切換間隔を 15000 ms (15 秒) に設定。
備考		@GST / @SST シーケンス切換モード設定 (P.17) の設定が“1” (ON) のときは取得のみ可能です。設定はエラーを返します。

@GSD / @SSD		シーケンス切換モード 入力検出チャンネルのみ設定
取得	送信	@GSD <input type="checkbox"/>
	返信	@GSD, detect <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SSD, detect <input type="checkbox"/>
	返信	@SSD, detect <input type="checkbox"/>
パラメータ		detect : 入力検出チャンネルのみ切換 0 = シーケンスの切換をすべての入力チャンネルで行う, 1 = シーケンスの切換を映像信号の入力が検出されているチャンネルのみで行う ※初期値 映像信号の入力が検出されているチャンネルのみで行う
取得例	送信	@GSD <input type="checkbox"/>
	返信	@GSD,0 <input type="checkbox"/>
	説明	入力検出チャンネルのみ設定を取得。 シーケンスの切換をすべての入力チャンネルで行う。
設定例	送信	@SSD,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSD,1 <input type="checkbox"/>
	説明	シーケンスの切換を映像信号の入力が検出されているチャンネルのみで行う。
備考		@GST / @SST シーケンス切換モード設定 (P.17) の設定が“1” (ON) のときは取得のみ可能です。設定はエラーを返します。

@GSC / @SSC		シーケンス切換モード 動作開始チャンネル
取得	送信	@GSC <input type="checkbox"/>
	返信	@GSC, select <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SSC, select <input type="checkbox"/>
	返信	@SSC, select <input type="checkbox"/>
パラメータ		select : 動作開始チャンネル 0 = 現在の入力チャンネルから開始する, 1 = 切換の対象に設定されている一番若い番号の入力チャンネルから開始する ※初期値 現在の入力チャンネルから開始する
取得例	送信	@GSC <input type="checkbox"/>
	返信	@GSC,1 <input type="checkbox"/>
	説明	動作開始チャンネルを取得。 切換の対象に設定されている一番若い番号の入力チャンネルからシーケンス切換モードを開始する。
設定例	送信	@SSC,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSC,0 <input type="checkbox"/>
	説明	現在の入力チャンネルからシーケンス切換モードを開始する。
備考		@GST / @SST シーケンス切換モード設定 (P.17) の設定が“1” (ON) のときは取得のみ可能です。設定はエラーを返します。

3.3.4 入力設定

@GDT / @SDT		映像信号の無入力監視
取得	送信	@GDT [↵]
	返信	@GDT, time_1, time_2, time_3, time_4 [↵]
設定	送信	@SDT, ch_1, time_1 (, ch_2, time_2···) [↵]
	返信	@SDT, ch_1, time_1 (, ch_2, time_2···) [↵]
パラメータ		<p>time_1-4 : 無入力監視時間 0 = OFF, 2000 = 2 秒 ~ 15000 = 15 秒 ※初期値 10000 = 10 秒 100 ms 単位で設定し、下 2 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。 (例えば 2955 と指定すると、2900 ms に設定されます。)</p> <p>ch_1-4 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4</p>
取得例	送信	@GDT [↵]
	返信	@GDT,6000,10000,10000,4000 [↵]
	説明	無入力監視時間の設定値を取得。 IN1 は 6000 ms (6 秒)、IN2 と IN3 は 10000 ms (10 秒)、IN4 は 4000 ms (4 秒)。
設定例	送信	@SDT,3,6000 [↵]
	返信	@SDT,3,6000 [↵]
	説明	IN3 の無入力監視時間を 6000 ms (6 秒) に設定。
備考		—

@GHE / @SHE		HDCP 入力の許可 / 禁止
取得	送信	@GHE [↵]
	返信	@GHE, hdcp_1, hdcp_2, hdcp_3, hdcp_4 [↵]
設定	送信	@SHE, ch_1, hdcp_1 (, ch_2, hdcp_2···) [↵]
	返信	@SHE, ch_1, hdcp_1 (, ch_2, hdcp_2···) [↵]
パラメータ		<p>hdcp_1-4 : HDCP 入力の設定 0 = DISABLE (禁止), 1 = HDCP 1.4 (許可), 2 = HDCP 2.2 (許可) ※初期値 HDCP 2.2 (許可)</p> <p>ch_1-4 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4</p>
取得例	送信	@GHE [↵]
	返信	@GHE,2,2,0,2 [↵]
	説明	HDCP 入力の設定値を取得。 IN3 は HDCP 入力を禁止する、その他の入力チャンネルは HDCP 2.2 入力を許可する。
設定例	送信	@SHE,1,0 [↵]
	返信	@SHE,1,0 [↵]
	説明	IN1 の HDCP 入力を禁止に設定。
備考		—

3.3.5 出力設定

@GDM / @SDM		出力モード
取得	送信	@GDM <input type="button" value="↵"/>
	返信	@GDM, mode <input type="button" value="↵"/>
設定	送信	@SDM, mode <input type="button" value="↵"/>
	返信	@SDM, mode <input type="button" value="↵"/>
パラメータ		mode : 出力モード 0 = AUTO, 1 = DVI 出力, 2 = RGB 出力, 3 = YCbCr 4:2:0 出力, 4 = YCbCr 4:2:2 出力, 5 = YCbCr 4:4:4 出力 ※初期値 AUTO
取得例	送信	@GDM <input type="button" value="↵"/>
	返信	@GDM,3 <input type="button" value="↵"/>
	説明	出力モードの設定値を取得。 YCbCr 4:2:0 出力
設定例	送信	@SDM,3 <input type="button" value="↵"/>
	返信	@SDM,3 <input type="button" value="↵"/>
	説明	出力モードを YCbCr 4:2:0 出力に設定。
備考		—

@GCO / @SCO		シンク機器 EDID チェック
取得	送信	@GCO <input type="button" value="↵"/>
	返信	@GCO, mode <input type="button" value="↵"/>
設定	送信	@SCO, mode <input type="button" value="↵"/>
	返信	@SCO, mode <input type="button" value="↵"/>
パラメータ		mode : シンク機器 EDID チェック 0 = EDID 読み取りエラー時 DVI 機器と判断, 1 = EDID 読み取りエラー時 HDMI 機器 (SCDC なし) と判断, 2 = 常時 HDMI 機器 (SCDC なし) と判断, 3 = EDID 読み取りエラー時 HDMI 機器 (SCDC あり) と判断, 4 = 常時 HDMI 機器 (SCDC あり) と判断 ※初期値 EDID 読み取りエラー時 DVI 機器と判断
取得例	送信	@GCO <input type="button" value="↵"/>
	返信	@GCO,3 <input type="button" value="↵"/>
	説明	シンク機器 EDID チェックの設定値を取得。 EDID 読み取りエラー時 HDMI 機器 (SCDC あり) と判断。
設定例	送信	@SCO,0 <input type="button" value="↵"/>
	返信	@SCO,0 <input type="button" value="↵"/>
	説明	EDID 読み取りエラー時 DVI 機器と判断に設定。
備考		—

@HAU		HDCP 再認証
設定	送信	@HAU ↵
	返信	@HAU ↵
パラメータ		なし
設定例	送信	@HAU ↵
	返信	@HAU ↵
	説明	HDCP 再認証を実行。
備考		—

3.3.6 音声設定

@GAM / @SAM		音声出力ミュート
取得	送信	@GAM ↵
	返信	@GAM, mute ↵
設定	送信	@SAM, mute ↵
	返信	@SAM, mute ↵
パラメータ		mute : 音声出力ミュート 0 = ミュート OFF, 1 = ミュート ON ※初期値 ミュート OFF
取得例	送信	@GAM ↵
	返信	@GAM,0 ↵
	説明	音声出力ミュート設定値を取得。 ミュート OFF
設定例	送信	@SAM,1 ↵
	返信	@SAM,1 ↵
	説明	デジタル / アナログ音声出力をミュートにする。
備考		—

3.3.7 接点入力

@GFP / @SFP		接点入力端子のチャタリング除去時間
取得	送信	@GFP ↵
	返信	@GFP, time ↵
設定	送信	@SFP, time ↵
	返信	@SFP, time ↵
パラメータ		time : チャタリング除去時間 0 = 0 ms ~ 300 = 300 ms ※初期値 30 ms
取得例	送信	@GFP ↵
	返信	@GFP,10 ↵
	説明	チャタリング除去時間を取得。 10 ms
設定例	送信	@SFP,10 ↵
	返信	@SFP,10 ↵
	説明	チャタリング除去時間を 10 ms に設定。
備考		—

3.3.8 EDID

@GVF / @SVF		EDID の解像度
取得	送信	@GVF <input type="checkbox"/>
	返信	@GVF resolution_1, resolution_2, resolution_3, resolution_4 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SVF, ch_1, resolution_1 (, ch_2, resolution_2···) <input type="checkbox"/>
	返信	@SVF, ch_1, resolution_1 (, ch_2, resolution_2···) <input type="checkbox"/>
パラメータ		resolution_1-4 : EDID の解像度 0 = EXTERNAL, 1 = COPY EDID, 2 = SVGA(800x600), 3 = XGA(1024x768), 4 = VESA720(1280x720), 5 = 720p(1280x720), 6 = WXGA(1280x768), 7 = WXGA(1280x800), 8 = QuadVGA(1280x960), 9 = SXGA(1280x1024), 10 = WXGA(1360x768), 11 = WXGA(1366x800), 12 = SXGA+(1400x1050), 13 = WXGA+(1440x900), 14 = WXGA++(1600x900), 15 = UXGA(1600x1200), 16 = WSXGA+(1680x1050), 17 = 1080i(1920x1080), 18 = 1080p@30(1920x1080), 19 = VESA1080(1920x1080), 20 = 1080p@60(1920x1080), 21 = WUXGA(1920x1200), 22 = QWXGA(2048x1152), 23 = WQHD(2560x1440), 24 = WQXGA(2560x1600), 41 = 2160p@30(3840x2160), 42 = 4096x2160@30, 43 = 2160p@60(3840x2160) 4:2:0, 44 = 4096x2160@60 4:2:0, 45 = 2160p@60(3840x2160) 4:4:4, 46 = 4096x2160@60 4:4:4 ※初期値 2160p@60(3840x2160) 4:4:4
		ch_1-4 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4
取得例	送信	@GVF <input type="checkbox"/>
	返信	@GVF,45,45,45,9 <input type="checkbox"/>
	説明	EDID の解像度を取得。 IN4 は SXGA(1280x1024)、その他の入力は 2160p@60(3840x2160) 4:4:4。
設定例	送信	@SVF,0,15 <input type="checkbox"/>
	返信	@SVF,0,15 <input type="checkbox"/>
	説明	全入力チャンネルの EDID を UXGA(1600x1200) に設定。
備考		—

@GHZ / @SHZ		フレームレート
取得	送信	@GHZ [↵]
	返信	@GHZ, frame_1, frame_2, frame_3, frame_4 [↵]
設定	送信	@SHZ, ch_1, frame_1 (, ch_2, frame_2···) [↵]
	返信	@SHZ, ch_1, frame_1 (, ch_2, frame_2···) [↵]
パラメータ		frame_1-4 : フレームレート 0 = 60 Hz ※初期値, 1 = 50 Hz ch_1-4 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4
取得例	送信	@GHZ [↵]
	返信	@GHZ,1,1,1,0 [↵]
	説明	入力映像のフレームレートを取得。 IN4 の入力映像のフレームレートは 60 Hz、その他の入力は 50 Hz。
設定例	送信	@SHZ,4,0 [↵]
	返信	@SHZ,4,0 [↵]
	説明	IN4 の入力映像のフレームレートを 60 Hz に設定。
備考		—

@GDI / @SDI		Deep Color 入力
取得	送信	@GDI [↵]
	返信	@GDI, color_1, color_2, color_3, color_4 [↵]
設定	送信	@SDI, ch_1, color_1 (, ch_2, color_2···) [↵]
	返信	@SDI, ch_1, color_1 (, ch_2, color_2···) [↵]
パラメータ		color_1-4 : 色深度 0 = 24 bit / pixel (8 bit / component) 1 = 30 bit / pixel (10 bit / component) 2 = 36 bit / pixel (12 bit / component) ※初期値 24 bit / pixel (8 bit / component) ch_1-4 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4
取得例	送信	@GDI [↵]
	返信	@GDI,1,1,1,0 [↵]
	説明	色深度の設定値を取得。 IN4 は 24 bit / pixel (8 bit / component)、その他の入力は 30 bit / pixel (10 bit / component)。
設定例	送信	@SDI,4,0 [↵]
	返信	@SDI,4,0 [↵]
	説明	IN4 の色深度を 24 bit / pixel (8 bit / component) に設定。
備考		—

@GAF / @SAF		音声フォーマット																
取得	送信	@GAF, ch [↵]																
	返信	@GAF, ch, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2...) [↵]																
設定	送信	@SAF, ch, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2...) [↵]																
	返信	@SAF, ch, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2...) [↵]																
パラメータ	<p>ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4 “全入力”は、設定コマンドのみ指定することができます。</p> <p>format_1-7 : 音声フォーマット 0 = PCM, 1 = Dolby Digital, 2 = AAC, 3 = Dolby Digital+, 4 = DTS, 5 = DTS-HD, 6 = Dolby TrueHD ※初期値 PCM のみ出力許可</p> <p>frequency_1-7 : 最大サンプリング周波数 0 = 出力を許可しない, 1 = 32 kHz, 2 = 44.1 kHz, 3 = 48 kHz, 4 = 88.2 kHz, 5 = 96 kHz, 6 = 176.4 kHz, 7 = 192 kHz ※初期値 PCM は 48 kHz、それ以外は OFF</p> <p>指定可能な最大サンプリング周波数は、音声フォーマットにより異なります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>音声フォーマット</th> <th>最大サンプリング周波数 (kHz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCM</td> <td>32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital</td> <td>出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48</td> </tr> <tr> <td>AAC</td> <td>出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital+</td> <td>出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48</td> </tr> <tr> <td>DTS</td> <td>出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 96</td> </tr> <tr> <td>DTS-HD</td> <td>出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> <tr> <td>Dolby TrueHD</td> <td>出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> </tbody> </table>		音声フォーマット	最大サンプリング周波数 (kHz)	PCM	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192	Dolby Digital	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48	AAC	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96	Dolby Digital+	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48	DTS	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 96	DTS-HD	出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192	Dolby TrueHD	出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192
音声フォーマット	最大サンプリング周波数 (kHz)																	
PCM	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																	
Dolby Digital	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48																	
AAC	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96																	
Dolby Digital+	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48																	
DTS	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 96																	
DTS-HD	出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																	
Dolby TrueHD	出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																	
取得例	送信	@GAF,1 [↵]																
	返信	@GAF,1,0,7 [↵]																
	説明	IN1 の出力許可されている音声フォーマットの設定値を取得。 PCM の 192 kHz までの音声出力が許可されている。																
設定例	送信	@SAF,2,4,3 [↵]																
	返信	@SAF,2,4,3 [↵]																
	説明	IN2 は PCM と DTS の 48 kHz までの音声を出力許可に設定。 (PCM の最大サンプリング周波数は変更されません。)																
備考	<p>取得コマンドの場合、出力が許可されている音声フォーマットと最大サンプリング周波数を返信します。</p> <p>設定コマンドの場合、出力を許可する音声フォーマットと最大サンプリング周波数を送信します。</p> <p>送信されなかった音声フォーマットは“出力を許可しない”に設定されます。PCM は必ず許可されるので、最大サンプリング周波数を変更する必要性がなければ省略可能です。</p>																	

@GSP / @SSP		スピーカー構成																																																																																																																							
取得	送信	@GSP, ch <input type="checkbox"/>																																																																																																																							
	返信	@GSP, ch, number, speaker_1 (, speaker_2····) <input type="checkbox"/>																																																																																																																							
設定	送信	@SSP, ch, number (, speaker_1, speaker_2····) <input type="checkbox"/>																																																																																																																							
	返信	@SSP, ch, number (, speaker_1, speaker_2····) <input type="checkbox"/>																																																																																																																							
パラメータ		<p>ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4 “全入力”は、設定コマンドのみ指定することができます。</p> <p>number : スピーカー数 1 ~ 8 ※初期値 2</p> <p>speaker_1-8 : 使用するスピーカー 0 = Front Left / Right ※初期値, 1 = Low Frequency Effect, 2 = Front Center, 3 = Rear Left / Right, 4 = Rear Center, 5 = Front Left / Right Center, 6 = Rear Left / Right Center, 7 = Front Left / Right Wide, 8 = Front Left / Right High, 9 = Top Center, 10 = Front Center High</p> <p>取得コマンドの場合、「スピーカー数」と「使用するスピーカー」を返信します。 設定コマンドの場合、「使用するスピーカー」を省略すると、「スピーカー数」の設定に応じて以下のように設定されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">number</th> <th colspan="11">speaker</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table> <p>「使用するスピーカー」を設定したとき、「スピーカー数」の設定と「使用するスピーカー」で設定したスピーカーの合計数が一致しない場合、「使用するスピーカー」の設定から自動的に「スピーカー数」が設定されます。 万一、「使用するスピーカー」で設定したスピーカーの合計数が上限値を超えている場合はエラーになります。</p>	number	speaker											0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	OFF	OFF	ON	OFF	2	ON	OFF	3	ON	ON	OFF	4	ON	ON	ON	OFF	5	ON	ON	OFF	ON	OFF	6	ON	ON	ON	ON	OFF	7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF																																											
number	speaker																																																																																																																								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																																														
1	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
2	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
4	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
5	ON	ON	OFF	ON	OFF																																																																																																																				
6	ON	ON	ON	ON	OFF																																																																																																																				
7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														

@GSP / @SSP		スピーカー構成 (つづき)
取得例	送信	@GSP,1 [↵]
	返信	@GSP,1,6,0,1,2,3 [↵]
	説明	IN1 のスピーカー構成の設定値を取得。 Front Left / Right, Low Frequency Effect, Front Center, Rear Left / Right の 6 個のスピーカーを使用している。
設定例	送信	@SSP,2,8 [↵]
	返信	@SSP,2,8 [↵]
	説明	IN2 は Front Left / Right, Low Frequency Effect, Front Center, Rear Left / Right, Rear Left / Right Center の 8 個のスピーカーを使用に設定。
設定例	送信	@SSP,3,8,0,3,5,6,7 [↵]
	返信	@ERR,1 [↵]
	説明	IN3 は Front Left / Right, Rear Left / Right, Front Left / Right Center, Rear Left / Right Center, Front Left / Right Wide のスピーカーを使用に設定。 スピーカーの合計数が 10 個になり、上限値を超えているため、エラーになります。
備考		—

@RME		EDID データのコピー
設定	送信	@RME [↵]
	返信	@RME [↵]
設定例	送信	@RME [↵]
	返信	@RME [↵]
	説明	HDMI 出力コネクタに接続されているシンク機器の EDID データを読み取り、本機に登録。
備考		—

3.3.9 RS-232C 通信設定

@GCT / @SCT		RS-232C 通信の設定
取得	送信	@GCT [↵]
	返信	@GCT, setting [↵]
設定	送信	@SCT, setting [↵]
	返信	@SCT, setting [↵]
パラメータ		setting : 通信設定 ・通信速度 (4800, 9600, 19200, 38400 [bps]) ・データビット長 (8, 7 [bit]) ・パリティチェック (なし, 偶数, 奇数) ・ストップビット (1, 2 [bit]) ※初期値 9600, 8, なし, 1 設定値は [表 3.1] をご覧ください。
取得例	送信	@GCT [↵]
	返信	@GCT,24 [↵]
	説明	RS-232C の通信設定の設定値を取得。 通信速度 = 19200 bps、データビット長 = 8 bit、パリティチェック = なし、ストップビット = 1 bit
設定例	送信	@SCT,24 [↵]
	返信	@SCT,24 [↵]
	説明	通信速度=19200 bps、データビット長 = 8 bit、パリティチェック = なし、ストップビット = 1 bit に設定。
備考		RS-232C 通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更をしてください。

[表 3.1] RS-232C 通信設定のパラメータ

値	通信設定			
0	4800	8	なし	1
1	4800	8	なし	2
2	4800	8	奇数	1
3	4800	8	奇数	2
4	4800	8	偶数	1
5	4800	8	偶数	2
6	4800	7	なし	1
7	4800	7	なし	2
8	4800	7	奇数	1
9	4800	7	奇数	2
10	4800	7	偶数	1
11	4800	7	偶数	2

値	通信設定			
12	9600	8	なし	1
13	9600	8	なし	2
14	9600	8	奇数	1
15	9600	8	奇数	2
16	9600	8	偶数	1
17	9600	8	偶数	2
18	9600	7	なし	1
19	9600	7	なし	2
20	9600	7	奇数	1
21	9600	7	奇数	2
22	9600	7	偶数	1
23	9600	7	偶数	2

値	通信設定			
24	19200	8	なし	1
25	19200	8	なし	2
26	19200	8	奇数	1
27	19200	8	奇数	2
28	19200	8	偶数	1
29	19200	8	偶数	2
30	19200	7	なし	1
31	19200	7	なし	2
32	19200	7	奇数	1
33	19200	7	奇数	2
34	19200	7	偶数	1
35	19200	7	偶数	2

値	通信設定			
36	38400	8	なし	1
37	38400	8	なし	2
38	38400	8	奇数	1
39	38400	8	奇数	2
40	38400	8	偶数	1
41	38400	8	偶数	2
42	38400	7	なし	1
43	38400	7	なし	2
44	38400	7	奇数	1
45	38400	7	奇数	2
46	38400	7	偶数	1
47	38400	7	偶数	2

3.3.10 LAN 通信設定

@GIP / @SIP		IP アドレス
取得	送信	@GIP <input type="checkbox"/>
	返信	@GIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>
	返信	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>
パラメータ		unit_1 : IP アドレス上位 ~ unit_4 : IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) ※初期値 192.168.1.199
取得例	送信	@GIP <input type="checkbox"/>
	返信	@GIP,192,168,3,2 <input type="checkbox"/>
	説明	本機の IP アドレスの設定値を取得。 IP アドレスは 192.168.3.2。
設定例	送信	@SIP,192,168,3,2 <input type="checkbox"/>
	返信	@SIP,192,168,3,2 <input type="checkbox"/>
	説明	IP アドレスを 192.168.3.2 に設定。
備考		LAN 通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更をしてください。

@GSB / @SSB		サブネットマスク
取得	送信	@GSB <input type="checkbox"/>
	返信	@GSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>
パラメータ		unit_1 : サブネットマスク上位 ~ unit_4 : サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) ※初期値 255.255.255.0
取得例	送信	@GSB <input type="checkbox"/>
	返信	@GSB,255,255,192,0 <input type="checkbox"/>
	説明	本機のサブネットマスクの設定値を取得。 サブネットマスクは 255.255.192.0 (= 18 ビット)。
設定例	送信	@SSB,255,255,192,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSB,255,255,192,0 <input type="checkbox"/>
	説明	本機のサブネットマスクを 255.255.192.0 (= 18 ビット) に設定。
備考		LAN 通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更をしてください。

@GMC		MAC アドレス表示
取得	送信	@GMC [↵]
	返信	@GMC, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4, unit_5, unit_6 [↵]
パラメータ		unit_1 : MAC アドレス上位 ~ unit_6 : MAC アドレス下位 00 ~ FF = 8 ビット (16 進数表記)
取得例	送信	@GMC [↵]
	返信	@GMC,00,08,E5,5C,00,00 [↵]
	説明	MAC アドレスを取得。 MAC アドレスは 00-08-E5-5C-00-00。
備考		—

@GLP / @SLP		TCP ポート番号
取得	送信	@GLP [↵]
	返信	@GLP, port_1, port_2, port_3, port_4, port_5, port_6, port_7 [↵]
設定	送信	@SLP, connection_1, port_1 (, connection_2, port_2····) [↵]
	返信	@SLP, connection_1, port_1 (, connection_2, port_2····) [↵]
パラメータ		port_1-7 : TCP ポート番号 23, 80, 1100, 5000 ~ 5999, 6000 ~ 6999 ※初期値 コネクション 1 ~ 4 = 1100, コネクション 5 ~ 7 = 23
		connection_1-7 : コネクション番号 0 = 全コネクション, 1 = コネクション 1 ~ 7 = コネクション 7
取得例	送信	@GLP [↵]
	返信	@GLP,1100,1100,1100,23,23,23,23 [↵]
	説明	TCP ポート番号の設定値を取得。 コネクション 1 ~ 3 は 1100, コネクション 4 ~ 7 は 23。
設定例	送信	@SLP,7,6000 [↵]
	返信	@SLP,7,6000 [↵]
	説明	コネクション 7 の TCP ポート番号を 6000 に設定。
備考		LAN 通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更をしてください。 またコネクション 8 は 80 番固定です。設定を変更することはできません。

3.3.11 電源投入時の状態設定

@GMU / @SMU		電源投入時の入力チャンネル
取得	送信	@GMU ↵
	返信	@GMU, state ↵
設定	送信	@SMU, state ↵
	返信	@SMU, state ↵
パラメータ		state : 電源投入時の入力チャンネル設定 1 = IN1 ~ 4 = IN4, 5 = チャンネル OFF, 6 = ラストチャンネル ※初期値 ラストチャンネル
取得例	送信	@GMU ↵
	返信	@GMU,3 ↵
	説明	電源投入時の入力チャンネルを取得。 電源投入時は IN3 で起動する。
設定例	送信	@SMU,3 ↵
	返信	@SMU,3 ↵
	説明	電源投入時の入力チャンネル設定を IN3 に設定。
備考		—

@GSO / @SSO		電源投入時のボタンロック
取得	送信	@GSO ↵
	返信	@GSO, state ↵
設定	送信	@SSO, state ↵
	返信	@SSO, state ↵
パラメータ		state : 電源投入時のボタンロック設定 0 = AUTO, 1 = UNLOCK, 2 = LOCK ※初期値 AUTO
取得例	送信	@GSO ↵
	返信	@GSO,1 ↵
	説明	電源投入時のボタンロック設定を取得。 電源投入時は UNLOCK で起動する。
設定例	送信	@SSO,1 ↵
	返信	@SSO,1 ↵
	説明	電源投入時のボタンロック設定を UNLOCK に設定。
備考		—

3.3.12 その他設定

@GLS / @SLS		ボタンロック
取得	送信	@GLS Ⓡ
	返信	@GLS, lock Ⓡ
設定	送信	@SLS, lock Ⓡ
	返信	@SLS, lock Ⓡ
パラメータ		lock : ボタンロック設定 0 = ロック解除, 1 = ロック設定, 2 = 現在の設定を逆にする ※初期値 ロック解除
取得例	送信	@GLS Ⓡ
	返信	@GLS,1 Ⓡ
	説明	ボタンロックの状態を取得。 ロック設定中
設定例	送信	@SLS,1 Ⓡ
	返信	@SLS,1 Ⓡ
	説明	ロックを設定。
備考		—

@GBZ / @SBZ		ブザー音
取得	送信	@GBZ Ⓡ
	返信	@GBZ, bz Ⓡ
設定	送信	@SBZ, bz Ⓡ
	返信	@SBZ, bz Ⓡ
パラメータ		bz : ブザー音 0 = OFF, 1 = ON ※初期値 ON
取得例	送信	@GBZ Ⓡ
	返信	@GBZ,1 Ⓡ
	説明	ブザー音の設定値を取得。 ブザー音は ON に設定されている。
設定例	送信	@SBZ,1 Ⓡ
	返信	@SBZ,1 Ⓡ
	説明	ブザー音を ON に設定。
備考		—

@GIV		バージョン情報の表示
取得	送信	@GIV 
	返信	@GIV, id, ver 
パラメータ		id : 製品型番
		ver : ファームウェアバージョン
取得例	送信	@GIV 
	返信	@GIV,IMP-S41U,3.00 
	説明	製品の情報を取得。 製品型番とファームウェアバージョンを返信。
備考		—

3.3.13 ステータス表示

@GSS		入力信号状態表示 / シンク機器状態表示														
取得	送信	@GSS, channel, mode [↵]														
	返信	@GSS, channel, mode, status_1 (, status_2, status_3, status_4) [↵]														
パラメータ		channel : 入出力チャンネル 1 = IN (選択中の入力チャンネル) 11 = OUT (出力チャンネル)														
		mode : 取得するステータス channel = 1 (選択中の入力チャンネル) の場合 0 = 以下の 1 ~ 4 のすべて, 1 = 入力信号の種類 ^{※1} , 2 = 映像入力信号のフォーマット ^{※2} , 3 = 音声入力信号のフォーマット ^{※3} , 4 = HDCP 入力の有無 ^{※4} , channel = 11 (出力チャンネル) の場合 0 = 以下の 1 ~ 3 のすべて, 1 = HDCP の認証状態 ^{※5} , 2 = 出力信号の種類 ^{※6} , 3 = エラーコード ^{※7}														
		status_1-4 : ステータス ※1 入力信号の種類は以下のいずれかを返信します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hxx</td> <td>HDMI 信号が入力されています。 xx は色深度を示し、24、30 または 36 のいずれかになります。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>DVI 信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table> ※2 映像入力信号のフォーマットは以下のように返信します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>映像入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1920 x 1080i 59.94Hz</td> <td>SDTV / HDTV / UHDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>800 x 600p 60.00Hz</td> <td>VESA 系解像度の信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>映像信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table>	返信	入力信号の種類	Hxx	HDMI 信号が入力されています。 xx は色深度を示し、24、30 または 36 のいずれかになります。	D	DVI 信号が入力されています。	N	信号が入力されていません。	返信例	映像入力信号のフォーマット	1920 x 1080i 59.94Hz	SDTV / HDTV / UHDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。	800 x 600p 60.00Hz	VESA 系解像度の信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。
返信	入力信号の種類															
Hxx	HDMI 信号が入力されています。 xx は色深度を示し、24、30 または 36 のいずれかになります。															
D	DVI 信号が入力されています。															
N	信号が入力されていません。															
返信例	映像入力信号のフォーマット															
1920 x 1080i 59.94Hz	SDTV / HDTV / UHDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。															
800 x 600p 60.00Hz	VESA 系解像度の信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。															
NO SIGNAL	映像信号が入力されていません。															

@GSS	入力信号状態表示 / シンク機器状態表示 (つづき)																																						
パラメータ	<p>※3 音声入力信号のフォーマットは以下のように返信します。</p> <table border="1" data-bbox="443 309 1409 707"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>音声入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LINEAR PCM 48kHz</td> <td>リニア PCM 信号が入力されおり、サンプリング周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)</td> <td>マルチチャンネルリニア PCM 信号が入力されおり、サンプリング周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>COMPRESSED AUDIO</td> <td>圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています。(本機では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>音声信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4 HDCP 入力の有無は以下のように返信します。</p> <table border="1" data-bbox="443 786 1409 1028"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>音声入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDCP 2.2 Type0</td> <td>HDCP 2.2 ストリームタイプ 0 の信号です。</td> </tr> <tr> <td>HDCP 2.2 Type1</td> <td>HDCP 2.2 ストリームタイプ 1 の信号です。</td> </tr> <tr> <td>HDCP 1.4</td> <td>HDCP 1.4 の信号です。</td> </tr> <tr> <td>HDCP OFF</td> <td>HDCP で保護されていない信号です。</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>映像信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※5 HDCP の認証状態は以下のいずれかを返信します。</p> <table border="1" data-bbox="443 1106 1409 1626"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>HDCP の認証状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDCP2.2 SUPPORT</td> <td>HDCP 2.2 でシンク機器と認証されています。</td> </tr> <tr> <td>HDCP1.4 SUPPORT</td> <td>HDCP 1.4 でシンク機器と認証されています。</td> </tr> <tr> <td>HDCP NOT SUPPORT</td> <td>HDCP に対応していないシンク機器が接続されているか、入力信号に HDCP が付加されていないため認証していません。</td> </tr> <tr> <td>HDCP ERROR</td> <td>HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。</td> </tr> <tr> <td>HDCP CHECK NOW</td> <td>シンク機器の接続状態が変わった場合などに表示され、シンク機器の状態を確認中です。</td> </tr> <tr> <td>MONITOR DISCONNECT</td> <td>シンク機器が切り離されました。</td> </tr> <tr> <td>UNCONNECTED</td> <td>シンク機器が接続されていません。</td> </tr> </tbody> </table>	返信例	音声入力信号のフォーマット	LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されおり、サンプリング周波数を返信します。	LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)	マルチチャンネルリニア PCM 信号が入力されおり、サンプリング周波数を返信します。	COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています。(本機では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)	NO SIGNAL	音声信号が入力されていません。	返信例	音声入力信号のフォーマット	HDCP 2.2 Type0	HDCP 2.2 ストリームタイプ 0 の信号です。	HDCP 2.2 Type1	HDCP 2.2 ストリームタイプ 1 の信号です。	HDCP 1.4	HDCP 1.4 の信号です。	HDCP OFF	HDCP で保護されていない信号です。	NO SIGNAL	映像信号が入力されていません。	返信例	HDCP の認証状態	HDCP2.2 SUPPORT	HDCP 2.2 でシンク機器と認証されています。	HDCP1.4 SUPPORT	HDCP 1.4 でシンク機器と認証されています。	HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していないシンク機器が接続されているか、入力信号に HDCP が付加されていないため認証していません。	HDCP ERROR	HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。	HDCP CHECK NOW	シンク機器の接続状態が変わった場合などに表示され、シンク機器の状態を確認中です。	MONITOR DISCONNECT	シンク機器が切り離されました。	UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。
返信例	音声入力信号のフォーマット																																						
LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されおり、サンプリング周波数を返信します。																																						
LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)	マルチチャンネルリニア PCM 信号が入力されおり、サンプリング周波数を返信します。																																						
COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています。(本機では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)																																						
NO SIGNAL	音声信号が入力されていません。																																						
返信例	音声入力信号のフォーマット																																						
HDCP 2.2 Type0	HDCP 2.2 ストリームタイプ 0 の信号です。																																						
HDCP 2.2 Type1	HDCP 2.2 ストリームタイプ 1 の信号です。																																						
HDCP 1.4	HDCP 1.4 の信号です。																																						
HDCP OFF	HDCP で保護されていない信号です。																																						
NO SIGNAL	映像信号が入力されていません。																																						
返信例	HDCP の認証状態																																						
HDCP2.2 SUPPORT	HDCP 2.2 でシンク機器と認証されています。																																						
HDCP1.4 SUPPORT	HDCP 1.4 でシンク機器と認証されています。																																						
HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していないシンク機器が接続されているか、入力信号に HDCP が付加されていないため認証していません。																																						
HDCP ERROR	HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。																																						
HDCP CHECK NOW	シンク機器の接続状態が変わった場合などに表示され、シンク機器の状態を確認中です。																																						
MONITOR DISCONNECT	シンク機器が切り離されました。																																						
UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。																																						

@GSS	入力信号状態表示 / シンク機器状態表示 (つづき)																																								
パラメータ	<p>※6 出力信号の種類は以下のいずれかを返信します。</p> <table border="1" data-bbox="443 309 1410 555"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>出力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hxx</td> <td>HDMI 信号を出力しており、xx は色深度を示し、24 または 30、36 のいずれかになります。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>DVI 信号を出力しています。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>HDCP の認証中のため、映像を出力していません。</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>シンク機器が接続されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※7 HDMI 出力コネクタへの映像出力、HDMI 出力コネクタへの音声出力、音声出力コネクタへの音声出力の順でエラーコードを返信します。 エラーコードは以下のいずれかになります。</p> <table border="1" data-bbox="443 707 1410 1771"> <thead> <tr> <th>エラーコード</th> <th>映像出力の状態</th> <th>音声出力の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td colspan="2">正常に映像または音声が出力されています。</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>—</td> <td>@GAM / @SAM 音声出力ミュート (P.22) が“ミュート ON”に設定されています。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="2">DDC 電源が入力されていません。(ソース機器が接続されていない場合は、この状態になります。)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>映像信号が入力されていません。</td> <td>音声信号が入力されていません。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="2">ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td colspan="2">HDCP の付加された信号が入力されていますが、シンク機器が HDCP に対応していません。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td colspan="2">映像または音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>本機が対応していない信号が入力されています。</td> <td>圧縮音声が入力されているため音声を出力することができません。(圧縮音声に対応したシンク機器以外には、圧縮音声は出力されません。)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>—</td> <td>ソース機器から DVI 信号が入力されているか、または @GDM / @SDM 出力モード (P.21) が DVI 出力に設定されている、もしくはデジタル音声に対応していないシンク機器が接続されています。</td> </tr> </tbody> </table>	返信	出力信号の種類	Hxx	HDMI 信号を出力しており、xx は色深度を示し、24 または 30、36 のいずれかになります。	D	DVI 信号を出力しています。	C	HDCP の認証中のため、映像を出力していません。	N	シンク機器が接続されていません。	エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態	0	正常に映像または音声が出力されています。		1	—	@GAM / @SAM 音声出力ミュート (P.22) が“ミュート ON”に設定されています。	2	DDC 電源が入力されていません。(ソース機器が接続されていない場合は、この状態になります。)		3	映像信号が入力されていません。	音声信号が入力されていません。	4	ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です。		5	HDCP の付加された信号が入力されていますが、シンク機器が HDCP に対応していません。		6	映像または音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。		7	本機が対応していない信号が入力されています。	圧縮音声が入力されているため音声を出力することができません。(圧縮音声に対応したシンク機器以外には、圧縮音声は出力されません。)	9	—	ソース機器から DVI 信号が入力されているか、または @GDM / @SDM 出力モード (P.21) が DVI 出力に設定されている、もしくはデジタル音声に対応していないシンク機器が接続されています。
返信	出力信号の種類																																								
Hxx	HDMI 信号を出力しており、xx は色深度を示し、24 または 30、36 のいずれかになります。																																								
D	DVI 信号を出力しています。																																								
C	HDCP の認証中のため、映像を出力していません。																																								
N	シンク機器が接続されていません。																																								
エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態																																							
0	正常に映像または音声が出力されています。																																								
1	—	@GAM / @SAM 音声出力ミュート (P.22) が“ミュート ON”に設定されています。																																							
2	DDC 電源が入力されていません。(ソース機器が接続されていない場合は、この状態になります。)																																								
3	映像信号が入力されていません。	音声信号が入力されていません。																																							
4	ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です。																																								
5	HDCP の付加された信号が入力されていますが、シンク機器が HDCP に対応していません。																																								
6	映像または音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。																																								
7	本機が対応していない信号が入力されています。	圧縮音声が入力されているため音声を出力することができません。(圧縮音声に対応したシンク機器以外には、圧縮音声は出力されません。)																																							
9	—	ソース機器から DVI 信号が入力されているか、または @GDM / @SDM 出力モード (P.21) が DVI 出力に設定されている、もしくはデジタル音声に対応していないシンク機器が接続されています。																																							

@GSS		入力信号状態表示 / シンク機器状態表示 (つづき)															
パラメータ		<table border="1"> <thead> <tr> <th>エラーコード</th> <th>映像出力の状態</th> <th>音声出力の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td colspan="2">入力チャンネルが“OFF”に設定されています。 (@GSW / @SSW 入力チャンネル切換 (P.14)、 @GCP / @IOS 入力チャンネル切換 (互換コマンド) (P.14))</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td colspan="2">シンク機器が接続されていません。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td colspan="2">HDCP の認証中です。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td colspan="2">HDCP の認証に失敗しました。</td> </tr> </tbody> </table>	エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態	A	入力チャンネルが“OFF”に設定されています。 (@GSW / @SSW 入力チャンネル切換 (P.14)、 @GCP / @IOS 入力チャンネル切換 (互換コマンド) (P.14))		B	シンク機器が接続されていません。		C	HDCP の認証中です。		D	HDCP の認証に失敗しました。	
エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態															
A	入力チャンネルが“OFF”に設定されています。 (@GSW / @SSW 入力チャンネル切換 (P.14)、 @GCP / @IOS 入力チャンネル切換 (互換コマンド) (P.14))																
B	シンク機器が接続されていません。																
C	HDCP の認証中です。																
D	HDCP の認証に失敗しました。																
取得例	送信 返信	@GSS,1,0 [↵] @GSS,1,0,H30,1920x1080p 60Hz,LINEAR PCM 48kHz, HDCP 1.4 [↵]															
	説明	選択中の入力チャンネルの全ステータスを取得。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入力信号の種類 : 30 bit / pixel (10 bit / component) の HDMI 信号 ・ 映像入力信号 : 1920x1080p 60 Hz ・ 音声入力信号 : LINEAR PCM 48 kHz ・ HDCP : HDCP 1.4 															
備考		—															

@GES		シンク機器の EDID 情報表示
取得	送信	@GES, mode [↵]
	返信	@GES, mode, status_1 (, status_2, status_3, status_4) [↵]
パラメータ		<p>mode : 取得するステータス</p> <p>0 = 1 ~ 4 のすべて,</p> <p>1 = モニタ名^{※1},</p> <p>2 = 解像度とドットクロック,</p> <p>3 = HDMI 対応状況およびサンプリング構造と色深度^{※2},</p> <p>4 = 音声の対応状況と、サンプリング周波数、ビット長、チャンネル数および圧縮音声の対応状況^{※3}</p>
		<p>status_1-4 : ステータス</p> <p>※1 シンク機器が接続されていない場合「UNCONNECTED」と返信します。</p> <p>※2 HDMI に対応していないシンク機器の場合「DVI」と返信します。 HDMI に対応しているシンク機器の場合「HDMI」と返信し、続けて対応しているサンプリング構造 (RGB, YCbCr 4:2:2, YCbCr 4:4:4, YCbCr 4:2:0 のうち対応しているものを / で区切って返信) と、対応している色深度 (24, 30, 36 のうち対応しているものを / で区切って返信) の順で返信します。</p> <p>※3 音声に対応していないシンク機器の場合「AUDIO NOT SUPPORT」と返信します。 音声に対応しているシンク機器の場合「LINEAR PCM」と返信し、続けて対応しているサンプリング周波数 (32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 のうち対応しているものを / で区切って返信)、ビット長 (16, 20, 24 のうち対応しているものを / で区切って返信)、チャンネル数 (1 ~ 8 のいずれか)、圧縮音声に対応していれば「COMPRESSED AUDIO SUPPORT」の順で返信します。</p>
取得例	送信	@GES,0 [↵]
	返信	@GES,0,IMP-S41U,1920x1080 148.50MHz,DVI,AUDIO NOT SUPPORT [↵]
	説明	<p>OUT に接続されたシンク機器の EDID 情報を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニタ名 : IMP-S41U ・ 解像度 : 1920x1080 ・ ドットクロック : 148.50 MHz ・ HDMI : 非対応 ・ 音声 : 非対応
備考		—

IMP-S シリーズ取扱説明書

<コマンドガイド>

Ver.2.2.0

発行日 2023 年 04 月 24 日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第 2 ビル 5 階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3 階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

E メールアドレス info@idk.co.jp ホームページ www.idk.co.jp